



備前島久仁子

役場周辺地区高度利用計画の最優先課題は

町 障害者福祉センター「たんぼぼ」を
現在地に建てかえる

Q 福祉施設の最優先課題は。

〈町長〉 老朽化している「たんぼぼ」を建てかえし、社会福祉協議会には世代交流多目的施設を整備したい。

Q 給食費滞納者への対応は。

〈町長〉 支払い能力がある場合には、債権管理条例に基づき徴収する。

Q 子宮頸がん予防ワクチンの大きな課題は。

〈町長〉 国は平成25年度からワクチンを定期接種にし、積極的に勧めてきたが、接種後、失神や痛みなどの副反応が相次いだため、現在は任意となっている。町は、広報などでワクチンの効果とリスクについて今後も周知していきたい。

Q 接種後、呼吸困難や記憶障害などの重篤な被害もある。10月にはワクチン被害者の群馬県支部も発足し、ワクチンとの因果関係や救済を求めよう各機関へ訴えている。町では今後、どう対処していくのか。

〈町長〉 接種する前に、医師による十分な問診と診察を行い、副反応についても説明していく。また、20歳になれば子宮がん健診を受けるよう呼びかけていく。

Q 女子の何%が接種したのか。

〈町長〉 中学校1年生から高校2年生の53%が接種。しかし、国が奨励しなくなり、今接種するのは月に数名である。

玉村町役場周辺地区



激変する大介護時代に対応できる町政をつくれ

町 超高齢化時代にきちんと対応していく



石川真男

Q 介護需要が急激に増大している。要支援は市町村に任せ、特別養護老人ホームには、例外はあるが要介護3以上でないが入所できないなど、家族にとつても行政にとつても深刻な事態が予想される。それらへの対応は。

〈町長〉 町の判断で、ボランティア、NPO、民間事業者、社会福祉法人等の社会資源を活用し、住民主体の取り組みを含め、多様で効果的かつ効率的なサービスの提供ができるよう見直す。

また、現在の入居状況を勘案し、特養施設の設置・増床も検討する。

個人と家族の負担増に対しては、「地域包括ケアシステム」構築による医療・介護・予防・住まい・生活支援サービスが連携した要介護者への包括的支援に取り組む。

平成27年度に改定予定の介護保険料は、急激な高齢化に伴う重度の要介護者の増加や高齢者世帯などの増加など需要増が見込まれ、大幅な上昇は避けられない。





島田 栄一

「県央の未来を紡ぐ玉村町」を 確かなものに

町 十分検討していきたい

Q 道の駅建設委員会の、その後の進捗状況はどのようになっているか。

〈町長〉 懸案だった用地の買収問題が合意になり、大きな問題が前進した。道の駅は大きく三部門に分かれており、農産物を販売する直売部門・食堂や商品を販売する商工部門・食肉を販売する肉の駅部門がある。今後、各部門に分かれて具体的な検討を進めていきたい。

Q 道の駅を成功させるには、有能な経営者を選ぶことから進めるべきではないか。

〈町長〉 十分承知している。今後検討していきたい。

Q 文化センター周辺の住宅団地造成事業は町の中心地に位置し、利便性も最高

の場所である。グレイドが高くセンスのよい住宅団地を希望するが、いかが考えるか。

Q 東部工業団地西側の拡張計画はどのようになっているか。

〈町長〉 企業誘致を進める上で工業団地の拡張は不可欠と考え、工業団地の西側約6ヘクタールを造成する予定である。地元企業へのアンケート結果を見ると、町内に移転場所を確保したいと回答した企業や新たに玉村町に進出したいという企業の引き合いがあることから、この事業を進めていきたい。



着々と工事が進む
高崎玉村スマートインターチェンジ周辺地区

こんな議案を審議しました

そこが聞きたい一般質問

委員会のつづき

その他



特別養護老人ホーム「にしきの園」

Q 極端な格差社会の是正は、健全な社会を維持するためにも必要だが、行政対応はできないか。

〈町長〉 雇用促進税制の周知徹底や、企業立地促進事業・新技術・新製品開発推進事業など各種企業支援事業を大いに活用し、雇用の拡大を後押ししたい。